

## 才能がぐんぐんと伸びる感触遊び！！

感触遊びとは？

「粘土遊び」「水遊び」「砂遊び」「食材ちぎり」

なぜ感触遊びがおすすめなのか？

(カナダの神経外科医 ワイルダーペンフィールド／1891～1976 の研究より)

手、指先は「第二の脳」と言われています。

手や指に関わる神経は脳の中で3分の1を占める。

脳の中には、体の動きを指示する部位(運動野)と感覚を感じる部位(感覚野)

があり、それぞれが手指の神経と密接に繋がっています。

運動野は2歳くらいまでに大人と同じくらい発達するとされているため

2歳までにたくさん指を使わせる動きをした方がいいということになります。

成長期にしっかり手指を動かすことで脳が活発に動き、思考力や記憶力が鍛えられます。

また指先からの刺激で脳そのものも変化します。

手指をしっかり動かすことで脳が情報をたくさん得ようと刺激されて活性化されます。

**感触遊びも色々ありますが、とくにお勧めなのは「スライム、粘土遊び  
遊びで得られる効果は？**

五感を育むことができる。

粘土をこねたり丸めたりすることで手から「冷たい」「ぷにぷに」「ツルツル」などといった

(触覚刺激)を得ることができると同時に、ちぎったり叩きつけたりする音(聴覚)

様々な色や形の粘土を見ること(視覚)、粘土独特の匂い(嗅覚)を感じることなど

五感から様々な刺激を受けることができます。

### 1. 細かい運動能力の発達(手先の器用さに繋がる)

粘土を平らにしたり押しつぶしたり細かくすることによって学校で鉛筆を持つ前に必要な筋肉の

発達を促します。細かい運動能力をさらに発達させるために、粘土カッター、プラスチックナイフ

綿棒などの遊び道具と一緒に使うとさらに効果的です。

### 2. 集中力の向上

感触や匂い、音など五感を働かせて自由に楽しめながら取り組めるので自然と夢中になり

普段なかなか集中できないお子さんも落ち着いて集中して取り組みやすい内容

夢中になって遊ぶことを繰り返していくことで集中力が向上する。

### 3. 言語発達が早くなる

「コロコロ丸める」「ベツタンコにする」などの動作を言葉で説明することで語彙力が増え

コミュニケーションスキルがアップする。

### 4. 触るだけで心の安定に繋がる。

粘土の柔らかい感触はリラックス効果がありネガティブな考えや感情をやわらげてくれるので

ストレスを感じやすいお子さんには特におすすめ→心が安定することで人間関係も築きやすい。

**5. 色認識ができるようになる**

色の違う粘土を混ぜることによって色が変化することを学ぶことができる。

**6. イメージを形にすることで想像力や考える力を育む**

粘土はなんでも表現することができるので頭の中にイメージしたものを形にしやすい。

月齢が上がるにつれて手先が器用になり繊細な作品を作ることができるようになる。

**7. 立体表現なので空間の認知. 理解に役立つ**

粘土の大きさや形状、位置、間隔、方向などを考えるので、その中で自然と空間認知能力を鍛えることができます。

**7. 過程と結果を考えるので科学的思考力が鍛えられる。**

科学的思考力＝問題解決の過程において客観的な根拠に基づき多方面から判断する力

**ただ脳を鍛えられるだけではなく、楽しみながら遊びの中で手指を動かすのが 1番効果的です。**

特性によって感覚過敏で粘土の匂いや感触が苦手、手先が不器用で工作が苦手、イメージすることや関心が低いという困り事があるお子さんがいると思いますが工夫をして少しずつ慣れる様に無理なく取り組むことが大切です。

粘土の匂いや感触が苦手な場合は、時間や回数を決めて挑戦しつつ苦手な部分をサポート、その子に合った匂いや感触のものを使用。

手先の不器用さがある場合は、姿勢や力の入れ具合をサポートしてあげる。

イメージするのが苦手だったり感心意欲が低い場合は、創作に興味を持たせて作品を認めて褒める。